



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東  
 コード番号 4023 URL <https://www.kureha.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小林 豊  
 問合せ先責任者（役職名） 広報・IR部長（氏名） 鶴谷 一成（TEL）03-3249-4651  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	49,280	30.2	8,145	91.4	8,519	95.4	5,505	64.8	5,460	65.3	8,743	158.6
2022年3月期第1四半期	37,848	20.3	4,254	69.4	4,360	54.4	3,340	63.8	3,303	61.2	3,380	△22.5

  

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	279.79	279.37
2022年3月期第1四半期	169.26	169.04

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	290,710	206,987	205,500	70.7
2022年3月期	282,639	200,724	199,219	70.5

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	85.00	—	125.00	210.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	125.00	—	125.00	250.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	100,000	26.5	13,000	14.4	13,500	17.9	9,500	14.1	486.74
通期	180,000	6.9	22,000	9.2	22,000	7.9	16,000	13.0	819.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	20,805,407株	2022年3月期	20,805,407株
2023年3月期1Q	1,287,768株	2022年3月期	1,288,121株
2023年3月期1Q	19,517,731株	2022年3月期1Q	19,517,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(売却目的保有資産)	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間のわが国を含む世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が緩和し、持ち直しの動きが継続しております。経済社会活動の正常化が進み、景気が持ち直していくことが期待されますが、原燃料価格の高騰、半導体の不足、ウクライナ情勢の長期化、感染再拡大に伴う経済活動の抑制等による影響が懸念され、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対し感染予防と感染リスク低減に努めて安定的に事業活動を継続しております。同感染症の再流行に伴う中国でのロックダウンにより、機能製品事業の炭素製品分野の現地工場が稼働を停止していましたが、稼働を再開しております。また、原燃料価格の高騰による業績への悪影響はあるものの、顧客の理解を得ながら、製品価格への転嫁等の対策を進めております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間は、機能製品事業のリチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂を中心に売上げが伸張し、前年同期比で増収増益となりました。

売上収益は前年同期比30.2%増の492億80百万円、営業利益は前年同期比91.4%増の81億45百万円、税引前四半期利益は前年同期比95.4%増の85億19百万円、四半期利益は前年同期比64.8%増の55億5百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比65.3%増の54億60百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	売 上 収 益			営 業 損 益		
	前第1四半期	当第1四半期	増減	前第1四半期	当第1四半期	増減
機能製品事業	14,238	24,492	10,254	971	5,649	4,677
化学製品事業	5,325	6,625	1,300	△47	△348	△300
樹脂製品事業	11,219	11,912	692	2,301	2,094	△206
建設関連事業	2,615	1,911	△703	135	112	△23
その他関連事業	4,448	4,336	△111	864	610	△254
セグメント合計	37,848	49,280	11,431	4,226	8,118	3,892
調整額(注)	—	—	—	28	26	△1
連結合計	37,848	49,280	11,431	4,254	8,145	3,890

(注) 営業損益の調整額には、報告セグメントに配分していないその他の収支が含まれております。詳細は、「(4)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載しております。

## ① 機能製品事業

機能樹脂分野では、リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂、PPS樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品、その他の樹脂加工品等の売上げが増加したことから、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

炭素製品分野では、高温炉用断熱材および自動車部品用摺動材向けの炭素繊維の売上げは前年同期並みとなり、この分野での売上げ、営業利益は前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比72.0%増の244億92百万円となり、営業利益は前年同期比481.3%増の56億49百万円となりました。

## ② 化学製品事業

農薬・医薬分野では、農業・園芸用殺菌剤の売上げは増加し、この分野での売上げは増加しましたが、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは減少したため、営業利益は減少しました。

工業薬品分野では、無機および有機薬品類の売上げが増加しましたが、原燃料価格高騰の影響により営業損失は増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比24.4%増の66億25百万円となり、営業損失は前年同期47百万円から3億48百万円となりました。

## ③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

業務用食品包装材分野では、熱収縮多層フィルムおよび塩化ビニリデン・フィルムの売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比6.2%増の119億12百万円となり、営業利益は前年同期比9.0%減の20億94百万円となりました。

## ④ 建設関連事業

建設事業では、公共工事は前年同期並みとなったものの民間工事の減少により、売上げ、営業利益はともに減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比26.9%減の19億11百万円となり、営業利益は前年同期比17.2%減の1億12百万円となりました。

## ⑤ その他関連事業

環境事業では、低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理の減少により、売上げ、営業利益はともに減少しました。

運送事業では、売上げ、営業利益はともに前年同期並みとなりました。

病院事業では、売上げ、営業利益はともに前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比2.5%減の43億36百万円となり、営業利益は前年同期比29.4%減の6億10百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当第1四半期末の資産合計につきましては、前期末比80億70百万円増の2,907億10百万円となりました。流動資産は、棚卸資産ならびに営業債権及びその他の債権の増加、持分法投資の売却目的保有資産への分類があったこと等により、前期末比83億46百万円増の1,207億64百万円となりました。非流動資産は、有形固定資産が増加した一方で、持分法投資の売却目的保有資産への分類等により、前期末比2億75百万円減の1,699億45百万円となりました。

負債合計につきましては、前期末比18億7百万円増の837億22百万円となりました。これは、賞与の支払いを実施した一方で、有利子負債が借入金等の増加により前期末比23億22百万円増の308億29百万円となったこと等によるものです。

資本合計につきましては、前期末比62億62百万円増の2,069億87百万円となりました。これは、剰余金の配当を24億39百万円実施した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益を54億60百万円計上するとともに、為替市場での円安の影響によりその他の資本の構成要素が増加したこと等によるものです。

## (3) 今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表した数値を修正しております。詳細は、本日(2022年8月9日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	30,639	28,301
営業債権及びその他の債権	35,808	39,142
その他の金融資産	16	15
棚卸資産	41,698	46,116
売却目的保有資産	—	3,339
その他の流動資産	4,255	3,850
流動資産合計	112,418	120,764
非流動資産		
有形固定資産	114,435	115,965
無形資産	4,041	4,446
持分法で会計処理されている投資	16,836	15,228
その他の金融資産	21,514	21,293
繰延税金資産	1,604	1,655
その他の非流動資産	11,787	11,354
非流動資産合計	170,221	169,945
資産合計	282,639	290,710

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	29,476	29,509
社債及び借入金	14,750	17,445
その他の金融負債	1,522	2,811
未払法人所得税等	2,287	2,312
引当金	6,893	4,965
その他の流動負債	7,671	7,249
流動負債合計	62,602	64,293
非流動負債		
社債及び借入金	11,428	11,258
その他の金融負債	2,028	1,887
繰延税金負債	2,269	2,699
引当金	1,342	1,311
退職給付に係る負債	316	323
その他の非流動負債	1,926	1,949
非流動負債合計	19,311	19,429
負債合計	81,914	83,722
資本		
資本金	18,169	18,169
資本剰余金	14,724	14,724
自己株式	△8,701	△8,699
利益剰余金	166,005	168,614
その他の資本の構成要素	9,020	12,692
親会社の所有者に帰属する持分合計	199,219	205,500
非支配持分	1,505	1,486
資本合計	200,724	206,987
負債及び資本合計	282,639	290,710

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	37,848	49,280
売上原価	27,599	33,756
売上総利益	10,248	15,523
販売費及び一般管理費	6,677	7,813
持分法による投資利益	673	371
その他の収益	90	217
その他の費用	81	154
営業利益	4,254	8,145
金融収益	220	437
金融費用	113	62
税引前四半期利益	4,360	8,519
法人所得税費用	1,020	3,013
四半期利益	3,340	5,505
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,303	5,460
非支配持分	37	44
四半期利益	3,340	5,505
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	169.26	279.79
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	169.04	279.37

要約四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	3,340	5,505
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△544	△161
確定給付制度の再測定	405	△412
合計	△138	△573
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	178	3,811
合計	178	3,811
税引後その他の包括利益	40	3,237
四半期包括利益	3,380	8,743
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,357	8,715
非支配持分	23	27
四半期包括利益	3,380	8,743

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2021年4月1日残高	18,169	14,897	△8,697	154,166	110	△3,161
四半期利益				3,303		
その他の包括利益						178
四半期包括利益合計	—	—	—	3,303	—	178
自己株式の取得			△0			
株式報酬取引					7	
配当金				△1,659		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				405		
所有者との取引額合計	—	—	△0	△1,253	7	—
2021年6月30日残高	18,169	14,897	△8,697	156,216	117	△2,982

	親会社の所有者に帰属する持分			その他の資本の構成要素		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	8,345	—	5,294	183,830	1,690	185,521
四半期利益			—	3,303	37	3,340
その他の包括利益	△530	405	53	53	△13	40
四半期包括利益合計	△530	405	53	3,357	23	3,380
自己株式の取得			—	△0		△0
株式報酬取引			7	7		7
配当金			—	△1,659	△62	△1,721
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		△405	△405	—		—
所有者との取引額合計	—	△405	△398	△1,651	△62	△1,714
2021年6月30日残高	7,814	—	4,949	185,536	1,651	187,187

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	18,169	14,724	△8,701	166,005	141	1,373
四半期利益				5,460		
その他の包括利益						3,811
四半期包括利益合計	—	—	—	5,460	—	3,811
自己株式の取得			△2			
株式報酬取引			4	△1	4	
配当金				△2,439		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△412		
所有者との取引額合計	—	—	1	△2,852	4	—
2022年6月30日残高	18,169	14,724	△8,699	168,614	146	5,185

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計				
2022年4月1日残高	7,504	—	9,020	199,219	1,505	200,724	
四半期利益			—	5,460	44	5,505	
その他の包括利益	△144	△412	3,254	3,254	△17	3,237	
四半期包括利益合計	△144	△412	3,254	8,715	27	8,743	
自己株式の取得			—	△2		△2	
株式報酬取引			4	7		7	
配当金			—	△2,439	△46	△2,486	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		412	412	—		—	
所有者との取引額合計	—	412	416	△2,434	△46	△2,480	
2022年6月30日残高	7,360	—	12,692	205,500	1,486	206,987	

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりです。

セグメント	主要製品等
機能製品事業	PPS樹脂、フッ化ビニリデン樹脂、PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品 炭素繊維、球状活性炭
化学製品事業	農業・園芸用殺菌剤、慢性腎不全用剤、か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン
樹脂製品事業	家庭用ラップ、流し台用水切り袋、食品保存容器および調理シート、フッ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、自動充填結紮機(食品包装用)
建設関連事業	土木・建築工事の施工請負業務、工事監理業務
その他関連事業	産業廃棄物の処理および環境関連処理設備、理化学分析・測定・試験および検査業務 運送および倉庫業務、医療サービス

## (2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と同一です。セグメント間の内部売上収益は、主に市場価格に基づいております。

当社グループのセグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	14,238	5,325	11,219	2,615	4,448	37,848	—	37,848
セグメント間の 内部売上収益	197	48	41	1,599	1,592	3,479	△3,479	—
計	14,435	5,373	11,261	4,214	6,041	41,327	△3,479	37,848
営業利益又は損失(△)	971	△47	2,301	135	864	4,226	28	4,254
金融収益								220
金融費用(△)								△113
税引前四半期利益								4,360

(注) 営業利益又は損失の調整額にはセグメント間取引消去等による利益19百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益90百万円およびその他の費用△81百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	24,492	6,625	11,912	1,911	4,336	49,280	—	49,280
セグメント間の 内部売上収益	518	46	94	1,726	1,579	3,965	△3,965	—
計	25,011	6,671	12,007	3,637	5,916	53,245	△3,965	49,280
営業利益又は損失(△)	5,649	△348	2,094	112	610	8,118	26	8,145
金融収益								437
金融費用(△)								△62
税引前四半期利益								8,519

(注) 営業利益又は損失の調整額にはセグメント間取引消去等による損失△36百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益217百万円およびその他の費用△154百万円が含まれております。

## (売却目的保有資産)

売却目的保有資産の内訳は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
売却目的保有資産		
持分法で会計処理されている投資	—	3,339
合計	—	3,339

(注) 当第1四半期連結会計期間における売却目的保有資産は持分法で会計処理されている南通匯羽豐新材料有限公司に対する投資であり、持分譲渡契約の締結に伴い売却目的保有資産に分類しております。当該持分法で会計処理されている投資の売却目的保有資産への分類により生じた利得および損失はありません。当該投資は2022年7月6日に譲渡されております。